



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年1月31日

上場会社名 新明和工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7224 URL <http://www.shinmaywa.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 五十川 龍之  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画本部 広報・IR部長 (氏名) 実平 典子 (TEL) 0798-56-5002  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	162,022	4.8	8,072	4.8	7,925	△1.4	5,013	△9.6
2019年3月期第3四半期	154,598	6.0	7,706	△5.1	8,037	△5.5	5,546	0.7

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 5,051百万円( 9.2%) 2019年3月期第3四半期 4,625百万円( △31.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	76.90	—
2019年3月期第3四半期	58.91	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	209,476	82,030	38.9
2019年3月期	209,195	83,043	39.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 81,383百万円 2019年3月期 82,340百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	18.00	—	27.00	45.00
2020年3月期	—	66.00	—		
2020年3月期(予想)				21.00	87.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年3月期中間配当金の内訳 普通配当21円00銭 創立70周年及び創業100周年記念配当45円00銭

## 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	230,000	5.8	11,500	7.4	11,000	5.4	6,500	△7.1
								99.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	70,000,000株	2019年3月期	96,391,800株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	4,812,369株	2019年3月期	31,203,419株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	65,188,085株	2019年3月期3Q	94,152,661株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	P. 2
(1) 経営成績に関する説明 .....	P. 2
(2) 財政状態に関する説明 .....	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	P. 8
(継続企業の前提に関する注記) .....	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	P. 8
(セグメント情報) .....	P. 9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境や所得水準の改善等がみられるものの、輸出の減速や設備投資の慎重化といった懸念材料がある一方で、世界経済においては、米中貿易摩擦の長期化や中国経済の減速など、先行きが不透明な状況で推移いたしました。

こうした中、当社グループは、3カ年の中期経営計画2年目となる当期も、企業価値向上に向けた諸施策を推進してまいりました。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、受注高は168,320百万円(前年同期比0.9%減)となったものの、事業環境が引き続き堅調に推移したことなどから、売上高は162,022百万円(同4.8%増)となりました。

損益面では、営業利益は8,072百万円(同4.8%増)となりましたが、経常利益は7,925百万円(同1.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は5,013百万円(同9.6%減)となりました。

当社グループのセグメント別経営成績の概要は次のとおりであります。なお、各セグメントの受注高及び売上高には、セグメント間の内部受注高及び内部売上高を含んでおります。また、文中の受注(高)及び売上(高)の増減は、前年同期との比較であります。

## (航空機)

防衛省向けは、受注は増加したものの、U-2型救難飛行艇の製造作業量が減少したことなどから、売上は減少いたしました。

また、民需関連は、受注、売上ともに減少いたしました。

この結果、当セグメントの受注高は20,429百万円(前年同期比1.5%減)、売上高は29,315百万円(同8.4%減)となりましたが、原価低減活動等により収益性が改善し、営業利益は1,385百万円(同12.3%増)となりました。

## (特装車)

車体等の製造販売は、受注は減少し、売上は前年同期並みの水準となりました。

また、保守・修理事業は、受注、売上ともに減少いたしました。

このほか、林業用機械等は、受注、売上ともに増加いたしました。

この結果、当セグメントの受注高は79,803百万円(前年同期比1.9%減)、売上高は68,666百万円(同2.0%増)となりましたが、営業利益は5,018百万円(同7.8%減)となりました。

## (産機・環境システム)

流体製品は、機器、システムともに需要が底堅く、サービス事業も堅調に推移した結果、受注、売上いずれも増加いたしました。

また、メカトロニクス製品は、自動電線処理機の受注及び売上が減少したものの、真空製品において前期に実施したM&A効果により受注及び売上が増加し、分野全体では受注、売上ともに増加いたしました。

このほか、環境関連事業は、受注は減少し、売上は前年同期並みの水準となりました。

この結果、当セグメントの受注高は31,843百万円(前年同期比1.8%増)、売上高は23,839百万円(同11.4%増)となりましたが、営業利益は118百万円(同61.7%減)となりました。

## (パーキングシステム)

機械式駐車設備は、大型のマンションやホテルなどの建設需要が堅調を維持した結果、受注、売上ともに増加いたしました。

また、航空旅客搭乗橋は、受注は減少し、売上は増加いたしました。

この結果、当セグメントの受注高は27,567百万円(前年同期比7.3%増)、売上高は27,493百万円(同14.0%増)となり、営業利益は2,555百万円(同41.5%増)となりました。

(その他)

建設事業において、受注は減少したものの、売上が増加した結果、当セグメントの受注高は10,757百万円(前年同期比14.8%減)、売上高は14,266百万円(同13.5%増)となり、営業利益は874百万円(同38.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末における総資産は、売上債権は減少したものの、たな卸資産の増加などにより前連結会計年度末に比べて280百万円増加し209,476百万円となりました。負債は、仕入債務は減少したものの、長期借入金の増加などにより、前連結会計年度末に比べて1,292百万円増加し127,445百万円となりました。純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したものの、配当金の支払いなどにより前連結会計年度末に比べて1,012百万円減少し82,030百万円となりました。これらの結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の39.4%から38.9%に低下いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年10月31日に公表した業績予想から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	23,153	27,372
受取手形及び売掛金	64,300	54,603
電子記録債権	16,654	14,364
商品及び製品	3,766	3,647
仕掛品	18,468	22,926
原材料及び貯蔵品	16,938	20,441
その他	5,459	4,125
貸倒引当金	△58	△54
流動資産合計	148,683	147,424
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	14,635	15,370
その他（純額）	20,230	22,156
有形固定資産合計	34,865	37,526
無形固定資産		
	2,768	2,497
投資その他の資産		
その他	22,915	22,062
貸倒引当金	△38	△35
投資その他の資産合計	22,877	22,027
固定資産合計	60,511	62,051
資産合計	209,195	209,476

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	29,371	27,593
短期借入金	49,051	29,605
1年内返済予定の長期借入金	238	1,053
未払法人税等	2,423	401
製品保証引当金	7	4
工事損失引当金	4,748	4,433
その他	24,981	21,942
流動負債合計	110,822	85,033
固定負債		
長期借入金	603	27,590
退職給付に係る負債	12,594	12,921
その他	2,132	1,900
固定負債合計	15,330	42,412
負債合計	126,152	127,445
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	15,981	15,981
資本剰余金	15,737	15,737
利益剰余金	94,992	56,222
自己株式	△44,597	△6,878
株主資本合計	82,113	81,063
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,951	2,006
土地再評価差額金	△376	△376
為替換算調整勘定	259	113
退職給付に係る調整累計額	△1,607	△1,423
その他の包括利益累計額合計	226	320
非支配株主持分	702	647
純資産合計	83,043	82,030
負債純資産合計	209,195	209,476

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	154,598	162,022
売上原価	130,924	137,509
売上総利益	23,674	24,512
販売費及び一般管理費	15,967	16,439
営業利益	7,706	8,072
営業外収益		
受取利息	12	42
受取配当金	134	141
持分法による投資利益	112	299
保険配当金	200	152
為替差益	80	—
受取保険金	—	166
その他	92	82
営業外収益合計	633	885
営業外費用		
支払利息	7	225
為替差損	—	141
休止固定資産費用	16	21
借入手数料	9	372
債権流動化費用	169	197
その他	99	75
営業外費用合計	302	1,033
経常利益	8,037	7,925
特別利益		
固定資産売却益	—	17
投資有価証券売却益	695	—
退職給付制度移行益	278	—
特別利益合計	974	17
特別損失		
固定資産売却損	—	14
固定資産処分損	479	340
災害による損失	242	—
特別損失合計	722	355
税金等調整前四半期純利益	8,289	7,587
法人税、住民税及び事業税	1,487	1,412
法人税等調整額	1,216	1,166
法人税等合計	2,703	2,578
四半期純利益	5,585	5,008
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	39	△4
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,546	5,013



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	5,585	5,008
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,063	55
為替換算調整勘定	△23	△111
退職給付に係る調整額	176	183
持分法適用会社に対する持分相当額	△50	△84
その他の包括利益合計	△960	42
四半期包括利益	4,625	5,051
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,583	5,106
非支配株主に係る四半期包括利益	41	△55

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

自己株式の消却

当社は、2019年9月26日開催の取締役会決議に基づき、2019年10月31日に自己株式26,391千株の消却を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において利益剰余金及び自己株式がそれぞれ37,720百万円減少しております。

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	航空機	特装車	産機・環境 システム	パーキング システム	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	31,998	67,314	21,401	24,090	144,805	9,793	154,598	—	154,598
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	2	7	34	45	2,781	2,826	△2,826	—
計	31,998	67,317	21,409	24,125	144,850	12,574	157,425	△2,826	154,598
セグメント利益	1,234	5,440	310	1,806	8,791	630	9,421	△1,715	7,706

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設事業、不動産事業、ソフトウェア事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,715百万円には、セグメント間取引消去△63百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,651百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎的試験研究費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	航空機	特装車	産機・環境 システム	パーキング システム	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	29,315	68,662	23,833	27,466	149,277	12,744	162,022	—	162,022
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	4	5	26	36	1,522	1,559	△1,559	—
計	29,315	68,666	23,839	27,493	149,314	14,266	163,581	△1,559	162,022
セグメント利益	1,385	5,018	118	2,555	9,079	874	9,953	△1,881	8,072

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設事業、不動産事業、ソフトウェア事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,881百万円には、セグメント間取引消去△7百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,873百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎的試験研究費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。